

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2011年2月1日 ～ 2023年12月31日の間に、Cushing病のために虎の門病院内分泌代謝科に入院・通院し、手術を受けられた方。

【研究課題名】

Cushing病患者における骨密度・海綿骨構造指標に関する検討

【研究の目的・背景】

Cushing病患者ではコルチゾールというステロイドホルモンが過剰に分泌され、ステロイド性骨粗鬆症を高率に合併します。従来骨粗鬆症の評価には、骨密度の測定が行われてきました。しかしながら、Cushing病の患者では骨密度が保たれていても骨折をするリスクが高いことが知られており、骨密度の低下よりも、骨の質（骨微細構造）の劣化が骨折のリスクに強く栄養すると考えられています。

海綿骨構造指標は従来行われてきた腰椎の骨密度検査画像の画素濃度をテクスチャー解析して算出される指標であり、骨微細構造の評価が可能な非侵襲的で新しい検査方法です。海綿骨構造指標が低い人は骨粗鬆症の有病率および骨折発生率の増加と関連しており、骨密度とは独立した危険因子であると考えられています。

今回Cushing病患者における骨密度と海綿骨構造指標を比較検討することで、ステロイド性骨粗鬆症の診断・評価における海綿骨構造指標の有用性を検討したいと考えています。

【研究期間】

2024年4月22日 ～ 2026年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院内分泌代謝科竹下章のもと終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃

棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：年齢・性別、身長・体重などの身体所見、診療記録、下垂体負荷試験を含む検査データ、既往歴、薬歴、骨折歴、骨密度、海綿骨構造指標

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科・竹下章

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年9月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 竹下章

電話 03-3588-1111(代表)